

# ピーたろう くじびきで へんなけいひんを もらう へんみ あやか

はるです。とりのピーたろうが、あたらしいおうちにひっこしてきました。もじやもじやの木のうちえ3ちようめです。ピーたろうは、いえのなかのにもつをととのえて、あたらしくかわないといけなものをしらべました。「れいぞうこはかった。せんたくきはかった。あ、とけいをかわなくちゃね。あとは、あ、……せんぷうき！」

ピーたろうはせんぷうきをかいに、ピークパークでんきてんへ、いきました。おみせのなかにはいつてせんぷうきコーナーへいくと、いっぱいあります、せんぷうき！ おおきいのから、ちいさいの、すずしいのから、すずしくないのまで。ピーたろうは、すずしいのをえらびました。

「てんいんさん。このせんぷうきをください」

「ありがとうございます。おきやくさま、おめがたかい。このせんぷうき、すずしいんですよ。それにいま、せんぷうきをかけてくださったおきやくさまは、くじがひけ



いをうごかしはじめました。せんぷうきがたのとけいは、せんぷうきですこしちいさくしたくらいのおおきさで、せんぷうきのまるいふちに、とけいらしく1から12までの すうじが かいであつて、せんぷうきはねが とけいはり、ということになつています。

さあ、ピーたろうが、とけいのおしりにでんちをいれました。すると、とけいのはりがうごきました。でも、なんとということでしょう。とけいのはりがせんぷうきみたいになつて「ふいーん」とまわりつづけるので、いま、なんじなんぷんなのか、まったくわかりません。  
「ふいーん」

ます」

わーい、くじびきたのしそう。くじびきのけいひんには、せんぷうきの絵がかいてあるうちわとか、せんぷうきぐるぐるキャンディーとかがあります。

ピーたろうが、く

じびきのガラガラ

——あの木のはこが、かんらんしゃみたいになまって、なかにいろいろないろのたまがはいっているや

つ——をまわすと、きんいろのたまが、ぼいとでました。「おめでとうございます！ 1とうしようの、せんぷうきがたとけいです！」

「わーい、1とうしよう！ それに、とけいもかわなくちゃいけなかったから、ちようどいいや」

ピーたろうは、せんぷうきと、せんぷうきがたとけいをかかえて、よろこんでいえにかえると、さっそくとけ

「へんなもの、もらっちゃったなあ。ちゃんとしたとけいを、かいにいかなくちゃ」

ピーたろうは、こんどはとけいをかいに、クルッポーとけいてんへいききました。ちゃんとしたとけいが、いっぱいあります。

「よかった。てんいんさん、このとけいをください」

「ありがとうございます。おきやくさま、おめがたかい。このとけい、ちゃんとしております。それにいま、とけいをかけてくださったおきやくさまは、くじがひけます」

「わあ、まただ」

ピーたろうが、くじびきのガラガラをおそるおそるまわすと、ちやいろのたまが、ぼいとでました。

「ざんねんでした。10とうしようのとけいがた せんべいです」

「わーい、せんべい、うれしいです」  
ピーたろうは、よろこんでせんべいをうけると、さっそくかじりました。

すると、かたい！ このせんべいの、どこがとけいがたなのかというと、かじるとかたくて「カチ コチ カチ コチ」。

ピーたろうは、またへんなものをもらっちゃった。でも、あじはおいしかったそうです。  
(おしまい)

